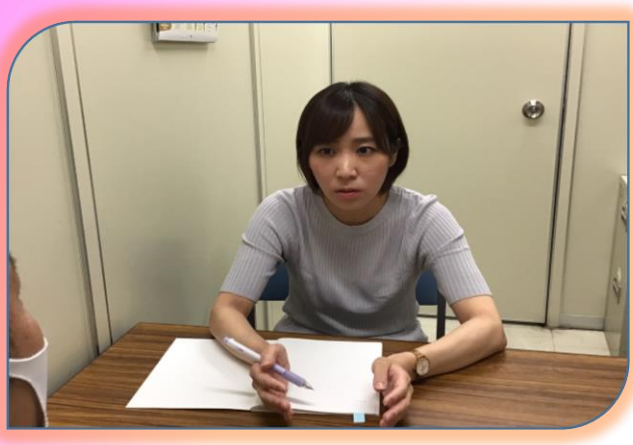
＃ 前職の業務、勤務内容

　内科系の病棟での看護師としての勤務や、保健所の保健師として、地域住民の方の健康管理に携わる勤務を経験してきました。臨床や現場で培った様々な経験が現在の業務に活かされていると感じています。



＃ きっかけ

　幼い頃から、「人の役に立つ仕事がしたい」という気持ちがあったため、大学卒業後は、臨床や地域保健の現場で勤務をしてきましたが、親族に警察職員がいて、福岡県警察が自分にとって身近な存在だったこともあり、自分が今まで培った知識や技術を活かして、保健師として福岡県民の安全・安心の確保に貢献できればと思い、志望しました。

＃ 印象に残ったエピソード

　職員本人やその職員の上司から様々な健康相談をいただくことがあります。はじめはどのように対応したらよいか悩むこともありましたが、上司や先輩に相談しながら、出来る限りの助言をさせていただいています。職員との関係性を築いていく中で、複数回相談を受けることもあり、専門職として頼りにしていただいたときには、大きなやりがいを感じています。また最近では、新型コロナウイルス感染拡大防止について、意見を求められることも多いため、警察署と連携を取りながら、職場での感染拡大防止に努めています。

＃ やりがい

　厚生課健康管理係では、職員の健康診断やその後の指導、メンタルヘルスを含む健康相談などを主な業務として行っています。各警察署に赴き、職員と直接会話をする機会がありますが、その中で、職員の行動変容や健診結果の変化が見られた際は非常に嬉しく感じます。

＃ 警察学校での生活

警察行政職員の入校期間は１カ月程度ですが、入校中は警察職員として必要な心構えなどをしっかりと教えてもらえます。入校してすぐのころは、集団での寮生活など、慣れない環境に戸惑いましたが、警察学校での教養が、警察職員としての心構えの基礎となり、警察組織への理解を深めることに繋がっていると感じています。また、警察学校での生活を通じて、同期生という今でも公私ともに頼れる大切な「仲間」を作ることができました。

＃ 休日の過ごし方

現在の職場は、基本的に土、日、祝日が休みとなっており、その他にも、年次休暇や特別休暇を積極的に取得することができる職場環境が整っています。ですので、休日には友人や同期生と趣味であるドライブやショッピングをして、しっかりとリフレッシュしています。

＃ 職場環境

厚生課健康管理係には経験豊富な上司が多く、職員からの健康相談などの対応で困った時は、いつでも相談できる環境です。職員の健康管理や職場環境を把握し、改善の手助けを行う仕事は、これまで経験したことがなかったため、はじめは分からないことばかりでしたが、上司や先輩に丁寧にサポートしていただき、ひとつひとつ確認しながら、業務に取り組むことができています。

＃ メッセージ

「警察」と聞くと、皆さんは「厳しい、きつい」などのイメージを持たれるかもしれませんがそんなことはありません。仕事面では、周囲の方々の優しいサポートがありますし、私生活面では、休みが多く取れるなど福利厚生も充実している「とても働きやすい職場」です。興味のある方は、是非受験してみてください。